

日本農業気象学会 2018 年度総会 議事要旨

日時：2018 年 3 月 14 日（水）11：30～13：30

場所：九州大学伊都キャンパス 椎木講堂第2講義室（福岡県福岡市西区元岡744番地）

開会

会長・大会委員長挨拶 北野雅治会長・大会委員長
議長に 鈴木克己会員（東海支部長） 選出

1. 2017 年度活動報告

1.1 事務・事業報告

- 1.1.1 役員等の交代 → 広田総務理事より総会資料 2 ページに基づき報告された。
- 1.1.2 会員数の動向 → 広田総務理事より総会資料 2 ページに基づき報告された。
- 1.1.3 研究集会・会議等の開催
→ 広田総務理事より総会資料 2 ページに基づき報告された。
- 1.1.4 学会誌出版会社の交代 → 広田総務理事より総会資料 2 ページに基づき報告された。
- 1.1.5 各種事業の推進 → 広田総務理事より総会資料 2～4 ページに基づき報告された。
- 1.1.6 編集委員会活動報告 → 広田総務理事より総会資料 4 ページに基づき報告された。
- 1.1.7 今年度の学会賞の選考経過
→ 広田総務理事より総会資料 4～5 ページに基づき報告された。
- 1.1.8 永年功労会員表彰の選考経過
→ 広田総務理事より総会資料 5 ページに基づき報告された。
- 1.1.9 フェロー称号授与 → 広田総務理事より総会資料 5 ページに基づき報告された。
- 1.1.10 表彰関係その他 → 広田総務理事より総会資料 5 ページに基づき報告された。
- 1.1.11 支部活動報告 → 広田総務理事より総会資料 6 ページに基づき報告された。
- 1.1.12 研究部会活動報告 → 広田総務理事より総会資料 7 ページに基づき報告された。

2. 審議事項

2.1 2017 年度一般会計決算報告(案)

→ 松浦会計理事より総会資料 8 ページに基づいて提案され、原案通り承認された。

2.2 会計監査報告(案)

→ 横山会計監査より総会資料 9 ページに基づいて提案され、原案通り承認された。

2.3 2017 年度剰余金処分(案)

→ 松浦会計理事より総会資料 10 ページに基づいて提案され、原案通り承認された。

2.4 会員からの生前寄附金の取り扱いについて 次世代活性化基金の新設(案)

→ 北野会長より総会資料 11 ページに基づいて一部修正して提案され、提案通り承認された。

2.5 2018 年度事業計画(案)

→ 広田総務理事より総会資料 1～13 ページに基づいて提案され、原案通り承認された。

2.5 2018 年度一般会計予算(案)

→ 松浦会計理事より総会資料 14 ページに基づいて提案され、原案通り承認された。

3. その他

なし

議長解任

●資料修正点

- ・2.4 会員からの生前寄附金の取り扱いについて 次世代活性化基金の新設（案）
（4）創立 75 周年記念式典において → 静岡大会において

日本農業気象学会 2018 年度 総会資料

日時：2018 年 3 月 14 日（水）11 時 30 分～13 時 30 分

場所：九州大学伊都キャンパス 椎木講堂

福岡市西区元岡 744 番地

日本農業気象学会 2018 年度総会 議事次第

開 会
会長挨拶
議長選出

1. 2017 年度活動報告

1.1 事務・事業報告

1.1.1 役員等の交代		2
1.1.2 会員数の動向		2
1.1.3 研究集会・会議等の開催		2
1.1.4 学会誌出版会社の交代		2
1.1.5 各種事業の推進		2
1.1.6 編集委員会活動報告		4
1.1.7 今年度の学会賞の選考経過		4
1.1.8 永年功労会員表彰の選考経過		5
1.1.9 フェロー称号授与		5
1.1.10 表彰関係その他		5
1.1.11 支部活動報告		6
1.1.12 研究部会活動報告		7

2. 審議事項

2.1 2017 年度一般会計決算報告（案）		8
2.2 会計監査報告（案）		9
— 2017 年度一般会計決算報告（案）・会計監査報告（案）の承認 —		
2.3 2017 年度剰余金処分（案）		10
— 2017 年度剰余金処分（案）の承認 —		
2.4 会員からの生前寄附金の取り扱いについて 次世代活性化基金の新設（案）		11
2.5 2018 年度事業計画（案）		11
— 2018 年度事業計画（案）の承認 —		
2.6 2018 年度一般会計予算（案）・特別会計予算（案）		14
— 2018 年度一般会計予算（案）特別会計予算（案）の承認 —		

議長解任

3. 2017 年度各賞の授与式

学術賞，功績賞，奨励賞，論文賞，永年功労会員表彰，フェロー称号授与

学会賞受賞記念講演

閉 会

1. 2017 年度活動報告

1.1.1 役員等の交代

- 1) 大政謙次会員に顧問を委嘱
- 2) 学会賞審査委員会委員長に互選で北宅善昭会員が就任
- 3) 永年功労会員表彰審査委員会委員長に互選で本條毅会員が就任
- 4) 会長指名担当理事の追加 総務（副）：松島大理事（予定）次世代活性化：松田怜理事 平田竜一理事，飯泉仁之直理事

1.1.2 会員数の動向（2017 年 12 月 31 日現在）

正会員	408(内外国 5)	(-9)
学生・ポスドク会員	41(内外国 0)	(-6)
シルバー会員	16(内外国 0)	(-4)
購読会員	57(内外国 0)	(-7)
賛助会員	20(内外国 0)	(0)
名誉会員	6(内外国 0)	(0)
海外特別会員	70(内外国 0)	(0)
合計	618(内外国 0)	(-26)

（ ）内は，2016 年 12 月 31 日時点と比較した増減数

1.1.3 研究集会・会議等の開催

- 1) 2017 年全国大会：2017 年 3 月 27 日～30 日に北里大学（十和田市）で開催
- 2) International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM) 2017：2017 年 3 月 27 日～30 日に北里大学（十和田市）で開催
- 3) 2016 年度評議員会：2017 年 3 月 29 日に北里大学（十和田市）で開催
- 4) 2017 年度総会：2017 年 3 月 29 日に北里大学（十和田市）で開催
- 5) 2017 年度理事会：2017 年 3 月 30 日に北里大学（十和田市），6 月 10 日，9 月 9 日，12 月 9 日に東京大学農学部で開催

1.1.4 学会誌出版会社の交代

「Journal of Agricultural Meteorology」および「生物と気象」の出版を養賢堂から西村謄写堂に交代した。出版経費に大きな変更はないが，予算の変更なく「生物と気象」が冊子体でも改めて出版されることになった。

1.1.5 各種事業の推進

- 1) 学会活動の活性化
 - (1) 学会ホームページにより、情報提供の充実を行った。
 - (2) 会員サービスとして、メーリングリストを利用した事務連絡等の実施（農業気象学会メール広報）
- 2) 学会誌等の出版
 - (1) 学術誌「Journal of Agricultural Meteorology」：第 73 巻 1 号～第 73 巻 4 号
 - (2) 学術誌「生物と気象」：第 17 巻 1 号～第 17 巻 4 号

- 3) 日本農業気象学会賞の審査
- 4) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰
- 5) 日本農業工学会賞に原菌芳信会員を推薦, 日本農業工学会フェローに皆川秀夫会員, 菅野洋光会員, 富士原和宏会員を推薦 (いずれも受賞)
- 6) 日本学術振興会賞に伊藤昭彦会員を推薦 (受賞)
- 7) 日本農学賞に広田知良会員を推薦
- 8) 支部大会等の推進 (別表「支部活動報告」の通り)
- 9) 「研究部会」, 「若手研究者の会」等の推進 (別表「研究部会活動報告」の通り)
- 10) 日本農学会, 日本農業工学会, 農業環境工学系学会連盟, 日本地球惑星科学連合の活動を推進, 日本学術会議関連の活動に協力, 学術会議ニュースの理事への配信
 - (1) 関連学協会委員

日本農学会 北野 雅治 (評議員)、酒井 英光 (運営委員)

日本農業工学会 真木 太一 (名誉顧問), 富士原 和宏 (理事), 細井 文樹 (正会員代議員), 松田 怜 (正会員代議員)

農業環境工学系学会連盟 北野 雅治、小沢 聖 (委員)

日本地球惑星科学連合 北野 雅治 (学会長会議員)、丸山 篤志 (窓口委員)

地理関連学会連合 山川 修治 (オブザーバー)

タスクフォース (ワーキングG) 鳥谷 均
- 11) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等を推進
 - (1) 日本生物環境工学会: 第 27 回 SHITA シンポジウム「ICT 導入の試みと多様化する植物工場」(2017 年 1 月 20 日, 中央大学駿河台記念館) を協賛
 - (2) 日本学術会議 農業生産環境工学分科会・環境委員会環境科学分科会: 日本学術会議公開シンポジウム「農林環境分野におけるジオエンジニアリング (気象工学) の推進」(2017 年 1 月 24 日, 日本学術会議講堂) を後援
 - (3) 日本風工学会: 第 59 回「風に関するシンポジウム」(2017 年 3 月 13 日, 日本大学理工学部駿河台校舎) を共催
 - (4) 日本学術会議 農業生産環境工学分科会、九州大学: 日本学術会議・九州大学 公開シンポジウム「農的エネルギーの新展開」(2017 年 6 月 5 日, 九州大学伊都キャンパス椎木講堂) を後援
 - (5) 生態工学会: 2017 生態工学会年次大会 (2017 年 6 月 23-24 日, 東京海洋大学品川キャンパス楽水会館) を協賛
 - (6) 日本流体力学会: 日本流体力学会 年会 2017 (2017 年 8 月 30 日-9 月 1 日, 東京理科大学葛飾キャンパス) を協賛
 - (7) 日本学術会議 農学委員会・食料科学委員会合同 CIGR 分科会: 公開シンポジウム「ICT on Plant factory and intelligent greenhouse」(2017 年 9 月 2 日, 愛媛大学農学部 大講義室) を後援
 - (8) 日本学術会議 農学委員会農業生産環境工学分科会: 日本学術会議公開シンポジウム「持続可能な都市農業の実現に向けて」(2017 年 9 月 10 日, 日本学術会議講堂) を後援
 - (9) (一社)日本能率協会: 「アグロ・イノベーション 2017」(2017 年 10 月 4-6 日, 東京ビッグサイト) を協賛
- 12) 2018 年全国大会 (福岡大会) の企画

13) 2019 年全国大会（静岡大会）の企画

1.1.6 編集委員会活動報告

1) 編集委員会および編集理事会の開催

編集委員会（英文誌・和文誌）

第1回 2017年3月28日，北里大学獣医学部大会議室（V1号館1階）

英文誌 編集委員会

第1回 2017年3月28日，北里大学獣医学部大会議室（V1号館1階）

第2回 2017年10月13日，東京大学 農学部7号館A棟7階 716号室

英文誌 編集理事会

第1回 2017年4月14日，東京大学 農学部7号館A棟7階 716号室

第2回 2017年7月21日，東京大学 農学部7号館A棟7階 716号室

2) 「Journal of Agricultural Meteorology」，「生物と気象」の発行

「Journal of Agricultural Meteorology」73巻1～4号（冊子体発行，J-STAGEでの公開）

研究論文17編（+2），短報5編（+1），総説0編（-1），研究ノート0編（0），

Preface 2編（+2），資料0編（0）

「生物と気象」17巻1～4号（冊子体発行，J-STAGEでの公開）

研究論文6編（+3），短報3編（+3），資料0編（0），総説0編（0），記事14編（+2）

* 括弧内は2016年度と比較した増減数。

3) その他

(1) 2016年分の「Journal of Agricultural Meteorology」のImpact factorは0.925であった（2015年分，0.467）。

(2) 「生物と気象」17巻1号，「Journal of Agricultural Meteorology」73巻2号から，編集業務を西村謄写堂へ移行したが，滞りなく編集業務を行えている。

1.1.7 今年度の学会賞の選考経過

2017年9月15日締め切りで，2017年度日本農業気象学会賞の受賞候補者を募集し，正会員および編集委員会から推薦があった候補者を学会賞審査委員会で審査した。2017年12月1日付で，北宅善昭学会賞審査委員長より審査結果が報告され，支部長，評議員および理事の投票により，2017年12月22日に下記の会員の受賞が決定した。

学術賞 長谷川利弘 会員 「イネに及ぼす大気CO₂増加と気候変化の影響解明」

学術賞 米村正一郎 会員 「土壌—大気間の微量気体の交換に関する農業気象学的研究」

功績賞 中村浩史 会員 「開放系環境制御技術の開発・改良・実践による気候変動影響研究の推進」

奨励賞 安宅未央子 会員 「CO₂ efflux from decomposing leaf litter stacks is influenced by the vertical distribution of leaf litter water content and its temporal variation」

奨励賞 岡田 牧 会員 「Dependence of atmospheric cooling by vegetation on canopy surface

area during radiative cooling at night: Physical model evaluation using a polyethylene chamber」

論文賞 大野宏之・佐々木華織・大原源二・中園江（著）「実況値と数値予報、平年値を組み合わせたメッシュ気温・降水量データの作成」、生物と気象、16 巻、71～79 ページ、2016 年

1.1.8 永年功労会員表彰の選考経過

2017 年 6 月 29 日、各支部に永年功労会員候補者の推薦を依頼した。2017 年 9 月 8 日の締め切りで各支部から推薦のあった候補者を永年功労会員表彰審査委員会に審査を依頼した。2017 年 10 月 24 日付で、本條毅永年功労会員表彰審査委員長から審査結果が報告され、支部長、評議員および理事の投票により、2017 年 12 月 22 日に下記の 3 名の会員の受賞が決定した。

北海道支部推薦：干場信司会員、関東支部推薦：大政謙次会員、近畿支部推薦：原菌芳信会員、

1.1.9 フェロー称号授与

フェロー授与規程 3(1)による対象者：干場信司会員

フェロー授与規程 3(2)による 2017 年度授与対象者

黒瀬義孝会員、大上博基会員、青野靖之会員、長谷川利弘会員（いずれも学術賞受賞者）

1.1.10 表彰関係その他

学会創立 75 周年記念式典において「特別功績賞」を養賢堂へ授与する。

1.1.9 支部活動報告

支部名・支部長	事務局もしくは連絡先	研究会・講演会・出版物	会員（2016 年 12 月 31 日現在）
北海道支部 支部長：鮫島良次	〒062-8555 札幌市豊平区羊ヶ丘 1 北海道農業研究センター 井上 聡 ino@affrc.go.jp Tel: 011-857-9266	・北海道支部大会（研究発表 16 題，講演会「接地層における乱流の姿を捉える－観測とモデルによるアプローチ－」，総会）：北海道大学農学部，12 月 6 日 ・「北海道の農業気象」第 69 号発行	正会員：41 学生・ポスドク会員：8 シルバー会員：2 購読会員：6 賛助会員：2 合計：59
東北支部 支部長：皆川秀夫	〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平 4 東北農業研究センター 川方 俊和 kawakata@affrc.go.jp Tel: 019-643-3462	・東北支部大会（一般研究発表，総会）：平成 29 年 8 月 24 日～25 日，山形大学農学部（山形県鶴岡市若葉町 1-23） ・「東北の農業気象」第 61 号発行	正会員：41 学生・ポスドク会員：2 シルバー会員：2 購読会員：7 賛助会員：0 合計：52
関東支部 支部長：宮田 明	〒305-8604 つくば市観音台 3-1-3 農業環境変動研究センター 小野 圭介 onok@affrc.go.jp Tel: 029-838-8239	支部例会（研究発表 12 件，総会，シンポジウム）：2017 年 11 月 17 日・明治大学黒川農場（神奈川県川崎市），参加者 52 名 ・「関東の農業気象」第 43 号発行	正会員：170 学生・ポスドク会員：21 シルバー会員：4 購読会員：21 賛助会員：15 合計：231
北陸支部 支部長：皆巳 幸也	〒921-8836 野々市市末松 1-308 石川 県立大学生物資源環境学部 皆巳幸也 yumin@ishikawa-pu.ac.jp Tel: 076-227-7476	・支部大会（研究発表 3 件，総会）：2017 年 10 月 24 日，石川四高記念館（金沢市），参加 7 名	正会員：10 学生・ポスドク会員：0 シルバー会員：1 購読会員：4 賛助会員：0 合計：15
東海支部 支部長：鈴木 克己	〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1 静岡県立大学食品栄養科学部 環境生命科学科植物環境研究室 望月 智貴 t-mochizuki@u-shizuoka-ken.ac.jp Tel: 054-264-5739	・支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2017 年 12 月 2 日に三重県北勢地域地場産業振興センター，参加者 13 名	正会員：31 学生・ポスドク会員：1 シルバー会員：1 購読会員：4 賛助会員：0 合計：37
近畿支部 支部長：北宅善昭	〒599-8531 堺市中区学園町 1-1 大阪 府立大学生命環境科学研究科 青野靖之 aono@envi.osakafu-u.ac.jp Tel: 072-254-9431	・支部大会（一般研究発表，総会，シンポジウム）：2017 年 12 月 2 日，大阪府立大学学術交流館（堺市中区），参加者 52 名，一般講演 9 件，シンポジウム「気候変動とその生態系や私達の暮らしへの影響を考える（4）」（生態工学会関西支部と共催） ・「日本農業気象学会近畿支部大会講演論文集」，第 10 号	正会員：35 学生・ポスドク会員：2 シルバー会員：3 購読会員：6 賛助会員：1 合計：47
中国・四国支部 支部長：大上博基	〒790-8566 松山市樽味 3-5-7 愛媛大学大学院 農学研究科 生物環境学専攻 佐藤嘉展 sato@agr.ehime-u.ac.jp Tel: 089-946-9882	・支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2017 年 12 月，鳥取大学 ・「中国・四国の農業気象」第 30 号発行	正会員：43 学生・ポスドク会員：6 シルバー会員：1 購読会員：5 賛助会員：1 合計：56
九州支部 支部長：大場和彦	〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大学院農学研究院環境農学部門安武大輔 yasutake@bpes.kyushu-u.ac.jp Tel: 092-642-2924	・支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2017 年 11 月，北九州市立大学で開催 ・「九州の農業気象第Ⅱ輯」第 26 号発行	正会員：41 学生・ポスドク会員：6 シルバー会員：6 購読会員：11 賛助会員：1 合計：65

1. 1. 10 研究部会活動報告

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング・GIS 研究部会 部会長：細井文樹 設立：2000年12月	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 清水 庸・飯泉仁之直 Tel: 03-5841-8101, Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	・日本農業気象学会関東支部 2017 年度例会を協賛し、一般講演の企画と準備、例会当日の対応を行った。 ・東京大学アグリコクーンセミナーを協賛し、リモートセンシング関連のセミナーを実施した。
園芸工学研究部会 部会長：後藤英司 設立：2006年6月	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	・日本農業気象学会 2017 年全国大会においてオーガナイズドセッション「温室の高機能化・大規模化にかかわる課題解決」を開催
農業気象リスクマネジメント研究部会 部会長：松岡延浩 設立：2010年3月	〒305-8604 茨城県つくば市観音台 3-1-3 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 大野宏之 Tel: 029-838-8946, Fax: 029-838-8199 E-mail: ohno@affrc.go.jp	・農業気象災害リスクに対するリーディングタイムに関する記事の学会誌「生物と気象」投稿について検討した。
若手研究者の会	〒082-0081 北海道河西郡芽室町新生南 9-4 農研機構北海道農業研究センター 大規模畑作研究領域大規模畑輪作グループ 臼井靖浩 TEL: 0155-62-9284 / FAX: 0155-61-2127 E-mail: yasusui@affrc.go.jp	・日本農業気象学会2017年全国大会において、若手研究者向けの研究集会「農業気象分野研究における統計解析－実験計画法の理論と実践－」と交流会を開催。開催報告は、「生物と気象」17(3) 69-70に掲載 ・日本農業気象学会75周年記念大会において、海外から研究者招聘（アメリカ1名、台湾1名）。招聘にともないISAMにてシンポジウムを企画している。なお、台湾からの招聘には、「ISAM 2018 Young Scientist Travel Award」によって渡航費用の補助する候補者を、台湾農業気象学会にて募集。1名の応募があり、採択者を決定した。 ・2018年8月もしくは9月に開催予定の、「若手サマースクール」の企画会議を行った。若手活性化担当理事ら（松田怜氏、平田竜一氏、飯泉仁之直氏）への協力。 ・2018年4月から2020年3月の2年間の次期若手研究者の会幹事の決定（代表幹事 矢崎友嗣氏（明治大学）。副幹事 櫻井玄氏（農環研）、HP担当 加藤知道氏（北大） ・ホームページの管理・運営 (http://www.agrmet.jp/wakate/) ・メーリングリストの管理・運営 ・日本学術会議若手アカデミー委員会「国内若手研究者ネットワーク」での活動

2. 審議事項

2.1 2017 年度一般会計決算報告

2017年度一般会計決算(案)

1. 収入				2. 支出			
科 目	予 算	決 算	備 考	科 目	予 算	決 算	備 考
学会費	4,415,500	4,947,456		学会誌発行業務	4,120,000	4,501,275	「JAM」と「生物と気象」
正会員	2,954,000	3,663,456	395件	印刷・製本・別刷り費	2,900,000	3,302,025	73-1,73-2,73-3,73-4, 17-1,17-2,17-3,17-4
シルバー会員	101,500	35,000	7件	発送費	200,000	226,734	
学生・ポストク会員	160,000	155,000	83件	編集費	600,000	779,814	
購読会員	600,000	494,000	66件	編集委員会経費	400,000	144,102	編集委員会旅費、事務費等
賛助会員	600,000	600,000	20件	J-stage査読システム	20,000	16,200	利用料金
				トムソロイター社 アップロード	10,000	32,400	73-2,73-3,73-4
売上金	1,660,000	2,475,525		総大会費	400,000	1,000,000	
書店販売分	250,000	267,600		大会運営費	400,000	1,000,000	2017年大会分40万円、 2018年記念大会分60万円
掲載料・別刷・超過頁等	1,400,000	2,184,365		学会賞費	50,000	78,500	賞牌作成費、受賞者懇親会費
バックナンバー	10,000	23,560		表彰状の手配、印刷		40,500	
雑益費	102,500	459,940		受賞講演者旅費		38,000	受賞：早川誠而氏
利息	2,500	853		名誉会員表彰	50,000	0	
複写権利等	100,000	81,869	複写権利他	会計業務委託費	1,270,000	1,488,875	
その他	0	377,218	要旨集送料、大会費 等返金	会員業務	500,000	462,756	会員管理(0560×617)、発送等 手数料
単年度合計	6,178,000	7,882,921		会計業務	260,000	259,200	月額@20,000×12
前年度繰越金	1,457,082	1,457,082		受付業務	260,000	194,400	月額@15,000×12
合計	7,635,082	9,340,003		その他業務	250,000	572,519	移行費用含む
				ホームページ運営費	300,000	64,104	
				理事会開催費等	400,000	395,887	
				庶務理事経費	10,000	890	推薦書類送付簡易書留料
				会計理事経費	65,000	75,241	会計業務・振込手数料等
				支部補助費	350,000	328,200	単価700円
				部会・研究・渡航補助費	150,000	50,000	
				若手研究者の会補助費	50,000	50,000	
				渡航費補助	100,000	0	
				関係団体分担金	150,000	159,300	
				日本地球惑星科学連合	10,000	10,000	
				日本農学会費	70,000	62,300	
				日本農業工学会費	70,000	87,000	
単年度収入合計	7,882,921			単年度支出	7,315,000	8,140,362	
単年度支出合計	8,140,362			予備費	320,082	0	
単年度収支差	-257,441			合計	7,635,082	8,140,362	
剰余金	1,199,641						

資産の部	現 金	会計理事預分	8,925	負債の部	未払金	西村膳写堂へ	3,247,482
	//	庶務理事預分	52,888		未払金	理事会開催費等	
	普通預金	三井住友	3,680,416		未払金	会計理事経費	
	//	みずほ	0		未払金	編集理事経費	
	//	高知	5,136,088		大会預り分		
	振替貯金		8,918,806	負債の部合計			3,247,482
	定期預金	三井住友	9,250,000				
				財産の部	学会基金		11,300,000
					事業準備金		11,300,000
					剰余金		1,199,641
				財産の部合計			23,799,641
資産の部合計			27,047,123	負債・財産の部合計			27,047,123

2.2 会計監査報告

平成 30 年 2 月 23 日

会計監査報告

日本農業気象学会
会長 北野 雅治 殿

日本農業気象学会
会計監査 横山 仁
佐々木 華織

日本農業気象学会 2017 年度(2017 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日)予算の執行に関し、彦坂晶子会計理事、松浦庄司会計理事より提出された会計書類について、質疑応答を交えながら監査を実施した。その結果、帳簿や証拠書類は正確に記載され、誤りなく出納されていることを確認したことから、当該予算が適正に執行されていたものと認める。

会計監査におけるコメント

1. 本年度は事務取扱所移転に伴う会計および編集処理の混乱が予想されたが、会計・編集理事および新事務取扱所の尽力により、スムーズな移行が行われており、赤字は最小限に抑えられた。来年度からは黒字も期待できると考えられるので、今回の移行判断は正しかったと思われる。引き続き、収支の動向について注視されたい。
2. 会員数は下げ止まっているものの、数年以内に退職者が増加することが見込まれているため、新規会員獲得に向けた基盤整備を進めておくべきである。また、今後も未納会費の回収を図るとともに、財政の安定化に向けた努力をすることが重要である。

2.3 2017 年度剰余金処分（案）

2017年度剰余金処分(案)

(1) 2017 年度剰余金は、1,199,641 円となった。

(2) 2017 年度剰余金から事業準備金へ0 円を繰入する。

(3) この結果、学会基金は 11,300,000 円、事業準備金は 11,300,000 円、一般会計繰越金 1,199,641 円となる。

2018年度基本金会計

科目	予算	備考
学会基金	11,300,000	
事業準備金	11,300,000	
	22,600,000	

2017年度基本金会計

科目	予算	備考
学会基金	11,300,000	
事業準備金	11,300,000	
	22,600,000	

2.4 会員からの生前寄附金の取り扱いについて 次世代活性化基金の新設（案）

真木太一名誉会員より 100 万円の御寄附の提供を受けた。その内 30 万円は、創立 75 周年記念大会での若手企画の実施費用として創立 75 周年記念大会委員会が受け入れ、残り 70 万円は学会での以下の活用を提案する。

- （１）次世代活性化基金を新設する。
- （２）次世代活性化基金は次世代活性化につながる企画の実施を目的とし、実施に際しては若手活性化担当理事が計画を会長に提案し、理事会の承認を得るものとする。
- （３）次世代活性化基金は当該寄附金のうち 70 万円を原資とし、特別会計として執行する。
- （４）寄附者に対しては、創立 75 周年記念式典において会長名で感謝状を授与する。

2.5 2018 年度事業計画（案）

1) 学会活動の活性化

- （１）会員数維持および学生会員獲得のための方策の検討および実施
 - （２）広報活動の促進のための方策の検討および実施
 - （３）学術誌の今後の方向性に関する検討
- 2) 2018 年全国大会の開催：2018 年 3 月 13 日～17 日に九州大学伊都キャンパス（福岡市）で開催
 - 3) International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM) 2017：2018 年 3 月 13 日～17 日に九州大学伊都キャンパス（福岡市）で開催
 - 4) 2018 年度総会の開催：2018 年 3 月 14 日に九州大学伊都キャンパス（福岡市）で開催
 - 5) 2017 年度評議員会の開催：2018 年 3 月 13 日に九州大学伊都キャンパス（福岡市）で開催
 - 6) 2018 年度理事会の開催：東京大学農学部、他
 - 7) 学術誌「Journal of Agricultural Meteorology」の発行（第 74 巻 1 号～第 74 巻 4 号）
 - 8) 学術誌「生物と気象」の発行（第 18 巻 1 号～第 18 巻 4 号）
 - 9) 日本農業気象学会賞の審査および授与
 - 10) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰
 - 11) 日本農学賞等の候補者の推薦
 - 12) 支部活動の推進（別表「支部活動予定（案）」の通り）
 - 13) 研究部会および若手研究者の会の活動の推進（別表「研究部会活動予定（案）」の通り）
 - 14) 特別委員会の開催
 - 15) 日本農学会の活動を推進
 - 16) 日本農業工学会の活動を推進
 - 17) 農業環境工学系学会連盟の活動を推進
 - 18) 日本学術会議関連の活動に協力
 - 19) 日本地球惑星科学連合の活動を推進
 - 20) 地理関連学会連合の活動に協力
 - 21) 地球観測タスクフォースコミュニティへの参加
 - 22) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等を推進
 - 23) 受託研究の受け入れ
 - 24) 国際会議出席者の推薦、国際研究交流、国際連携の推進
 - 25) 法人化の可能性の検討

26) 若手活性化の活動として、サマースクールの開催（次世代活性化基金による活動）

27) その他，本学会の目的達成のための各種事業の推進

支部活動予定（案）

支部名・支部長	事務局もしくは連絡先	研究会・講演会・出版物	会員（2017 年 12 月 31 日現在）
北海道支部 支部長：鮫島良次	〒062-8555 札幌市豊平区羊ヶ丘 1 北海道農業研究センター 井上 聡 ino@affrc.go.jp Tel: 011-857-9266	・北海道支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：開催地，日時は未定 ・「北海道の農業気象」第 70 号発行予定	正会員：39 学生・ポスドク会員：4 シルバー会員：2 購読会員：6 賛助会員：2 合計：53
東北支部 支部長：皆川秀夫	〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平 4 東 北農業研究センター 川方 俊和 kawakata@affrc.go.jp Tel: 019-643-3462	・東北支部大会（一般研究発表，総会）：開催地は宮城県を予定，日時は未定 ・「東北の農業気象」第 62 号発行予定	正会員：41 学生・ポスドク会員：5 シルバー会員：1 購読会員：7 賛助会員：0 合計：54
関東支部 支部長：宮田 明	〒305-8604 つくば市観音台 3-1-3 農業環境変動研究センター 飯泉仁之直 office@agrmet-kanto.jp Tel: 029-838-8435	・支部例会（研究発表，総会，シンポジウム）：北陸支部との共催で長野県において開催予定，日時は未定 ・「関東の農業気象」第 44 号発行予定	正会員：168 学生・ポスドク会員：15 シルバー会員：5 購読会員：21 賛助会員：15 合計：224
北陸支部 支部長：皆巳幸也	〒921-8836 野々市市末松 1-308 石川 県立大学生物資源環境学部 皆巳幸也 yumin@ishikawa-pu.ac.jp Tel: 076-227-7476	・支部大会（研究発表，講演会，総会）：2018 年秋，長野県において開催の予定（関東支部と共催） ・「日本農業気象学会北陸支部会誌」第 41 号発行予定	正会員：10 学生・ポスドク会員：0 シルバー会員：1 購読会員：4 賛助会員：0 合計：15
東海支部 支部長：鈴木克己	〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1 静岡県立大学食品栄養科学部 環境生命学科植物環境研究室 望月智貴 t-mochizuki@u-shizuoka-ken.ac.jp Tel: 054-264-5739	・支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2018 年 11 月下旬～12 月初旬に岐阜県にて開催予定 ・「東海支部会誌」第 73 号発行予定	正会員：31 学生・ポスドク会員：1 シルバー会員：1 購読会員：4 賛助会員：0 合計：37
近畿支部 支部長：北宅善昭	〒599-8531 堺市中区学園町 1-1 大阪 府立大学生命環境科学研究科 青野靖之 aono@envi.osakafu-u.ac.jp Tel: 072-254-9431	・支部大会（一般研究発表，総会，シンポジウム）：2018 年 12 月または 11 月，大阪府内（予定） ・「日本農業気象学会近畿支部大会講演論文集」，第 11 号発行予定	正会員：28 学生・ポスドク会員：6 シルバー会員：1 購読会員：6 賛助会員：1 合計：42
中国・四国支部 支部長：大上博基	〒790-8566 松山市樽味 3-5-7 愛媛大学農学部 地域環境工学コース 佐藤嘉展 sato@agr.ehime-u.ac.jp Tel: 089-946-9882	・支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2017 年 12 月，鳥取大学（予定） ・「中国・四国の農業気象」第 30 号発行予定	正会員：47 学生・ポスドク会員：7 シルバー会員：0 購読会員：4 賛助会員：1 合計：59
九州支部 支部長：脇山恭行	〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大学院農学研究院環境農学部門 安武大輔 yasutake@bpes.kyushu-u.ac.jp Tel: 092-642-2924	・支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2018 年 11 月，宮崎県都市で開催予定 ・「九州の農業気象第Ⅱ輯」第 27 号発行予定	正会員：39 学生・ポスドク会員：2 シルバー会員：5 購読会員：5 賛助会員：1 合計：52

研究部会活動予定（案）

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング・GIS 研究部会 部会長：細井文樹 設立：2000年12月	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 清水 庸・飯泉仁之直 Tel: 03-5841-8101, Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	・75周年記念大会のオーガナイズドセッション「OS-J1: 農業気象学的気候変動適応研究：現在位置、今後の課題・方向性」を協賛する。
園芸工学研究部会 部会長：後藤英司 設立：2006年6月	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	・研究集会、シンポジウム等の開催、協賛
農業気象リスクマネジメント研究部会 部会長：松岡延浩 設立：2010年3月	〒305-8604 茨城県つくば市観音台 3-1-3 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 大野宏之 Tel: 029-838-8946, Fax: 029-838-8199 E-mail: ohno@affrc.go.jp	・農業気象災害リスクに対するリーディングタイムについて引き続き検討予定。 ・農業気象災害事例の収集、共有手法について検討予定。
若手研究者の会	〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1 明治大学農学部 環境気象学研究室 矢崎友嗣 TEL 044-934-7162, FAX 044-934-7902 E-mail: yazakitm@meiji.ac.jp	・日本農業気象学会 75周年記念大会において、海外から研究者招聘（アメリカ1名、台湾1名）。招聘にともない ISAM にてシンポジウムおよび交流会を企画している。 ・2018年8月もしくは9月に開催予定の、「若手サマースクール」に対して若手活性化担当理事ら（松田怜氏、平田竜一氏、飯泉仁之直氏）への協力。 ・2018年4月から2020年3月の2年間の次期若手研究者の会幹事の決定（代表幹事 矢崎友嗣氏（明治大学）。副幹事 櫻井玄氏（農環研）、HP担当 加藤知道氏（北大）したため、引継ぎを予定している。 ・ホームページの管理・運営 (http://www.agrmet.jp/wakate/) ・メーリングリストの管理・運営 ・日本学術会議若手アカデミー委員会「国内若手研究者ネットワーク」での活動・

2.6 2018年度一般会計予算(案)・特別会計予算(案)

2018年度一般会計予算(案)

1. 収入			2. 支出		
科 目	予 算	備 考	科 目	予 算	備 考
学会費	4,788,000	(延べ人数, ※1)	学会誌発行業務	4,280,000	「JAM」・「生物と気象」
正会員	3,468,000	¥8,500×408名	印刷・製本・別刷り費	3,000,000	
シルバー会員	80,000	¥5,000×16名	送付費	250,000	
学生・ポスドク会員	164,000	¥4,000×41名	編集費	800,000	
購読会員	456,000	¥8,000×57件	編集委員会経費	150,000	旅費・事務費等
賛助会員	600,000	¥30,000×20件	J-stage査読システム	20,000	利用料金
			トムソンロイター社アップデート	40,000	¥10,000×4号
売上金	2,260,000		総大会費	700,000	
書店販売分	250,000		大会運営費	400,000	2019年度大会準備金
掲載料・別刷・超過頁等	2,000,000	「JAM」・「生物と気象」	合同大会分担金	300,000	
バックナンバー	10,000				
雑益費	701,000		学会賞費	50,000	賞牌作成費・交通費・懇親会費等
利息	1,000		名誉会員表彰	50,000	交通費・懇親会費等
複写権料等	100,000	複写権料他	会計業務委託費	1,210,000	
その他	600,000	要旨集送料・大会返金等	会員業務	500,000	会員管理費・会誌発送料等
			会計業務	260,000	月額¥20,000×12・その他
			受付業務	200,000	月額¥15,000×12・その他
			その他業務	250,000	
単年度合計	7,728,000		ウェブサイト運営費	300,000	サーバ管理費・英文ページ改訂費等
前年度繰越金	1,198,841		理事会開催費	400,000	理事会旅費
合計	8,928,841		庶務理事経費	10,000	
			会計理事経費	50,000	会計業務・振込手数料等
			支部補助費	325,500	¥700×465(個人会員数, ※1)
			部会・研究・渡航補助費	150,000	
			若手研究者の会補助費	50,000	
			渡航費補助	100,000	¥100,000×1名
			関係団体分担金	170,000	
			日本地球惑星科学連合	10,000	団体会員会費
			日本農学会会費	70,000	分担金
			日本農業工学会会費	90,000	正会員会費・その他
単年度収入合計	7,728,000		単年度支出	7,675,500	
単年度支出合計	7,675,500		予備費	1,253,141	
単年度収支差異	53,500		合計	8,928,841	
剰余金	1,253,141				

※ 1. 2017年12月末の会員数

2018年度次世代活性化基金特別会計予算(案)

1. 収入			2. 支出		
科目	予算	備考	科目	予算	備考
寄附	700,000	真木太一氏より	サマースクールの開催	150,000	現時点での見積
合計	700,000		単年度支出	150,000	
			予備費	550,000	
			合計	700,000	